

第 102 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 26 年 10 月 26 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 6 名
出席委員の氏名 児玉 昭義 木村 敏彦 堂園 孝美
欠席委員の氏名 大橋 民男 島田 貴司 小島 隆雄
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸

4. 議題

1. 番組編成に関して
2. その他

5. 議事の概要 議題に対する答申

6. 審議の内容

議 長：須藤 一郎、出欠席者の確認。

委 員 長：児玉 昭義、本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。

会社側委員：「鎌倉音楽堂」の放送が開始されました。「INDIES POWER」の時間枠の後継になります。

委 員：地域との交流をも視野にしながら音楽を中心にした番組としてリスナーを獲得できる内容に期待したい。

委 員：前回審議した「Happy!Happy!Happy!」も若い世代のエネルギーが伝わって行く番組として幅広い年代層のリスナーにも受け入れられていると思うが「鎌倉音楽堂」も良い意味でヤングパワーの息吹が幅広い年代層にも伝わる番組として発展してもらいたい。

会社側委員：前回もお願いいたしました新しい世代をリードするパワーの交流が健全な方向に展開されるように番組審議会としてのバックアップをお願いします。

委 員：KFN（神奈川 FM ネットワーク）と神奈川新聞社が非常時の情報共有に関する協定を結んだそうですが。

会社側委員：前回ご報告の通り 災害時における情報交換についての協定書を交わしました。具体的な活用はこれからになります。

委 員：災害時の情報共有は重要なポイントですから関係各機関の協力を期待する。

会社側委員：災害時への対応に関して「南海トラフ地震防災計画」を県の安全防災局防災部に提出しました。災害時に鎌倉エフエム放送としての対応を計画したものです。

委 員：コミュニティ放送は災害時の情報伝達に重要な役割を担うことになりますので平時の放送業務にもその心構えを持っていただきたいと思います。

委 員 長：本日は有り難うございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日 ホームページにて公開

9. その他の参考事項 な し

以 上